

臨時教育委員会次第

平成31年3月7日(木)

9:00~

1 開 会

2 前回議事録の承認

3 教育長報告

(1) 臨時代理の報告について

4 議 事(非公開)

付第36号議案

平成31年度小・中・義務教育学校教職員(管理職)異動について

付第37号議案

平成31年度県立学校教職員(管理職)異動について

定例教育委員会議事録（案）

- 1 期 日 平成 31 年 2 月 4 日（月曜日）
- 2 場 所 教育委員会室
- 3 参集者 白水教育長、牟田委員、小林委員、加藤委員、飯盛（清）委員、飯盛（裕）委員、宮崎副教育長、山口危機管理・広報総括監、青木副教育長、築地教育総務課長、宮崎教育振興課長、嘉村教職員課長、大井手学校教育課長、牛島保健体育課長、江島文化財課長、麻生特別支援教育室長、溝口教育情報化支援室長、松尾人権・同和教育室長、淀全国高総文祭推進室長、下村教育企画監、小田部教育センター所長、加藤教育振興課参事、富吉教職員課参事、伊東学校教育課参事、鳥井学校教育課参事、松永教育総務課副課長、恒松教育総務課係長、森教育総務課主事

4 会議次第 別紙のとおり

5 会議の経過

（ 1 ）開 会 10 時 00 分

（ 2 ）前回議事録の承認

このことについて、白水教育長は会議に諮り、委員会は承認した。

（ 3 ）事務局報告

宮崎教育振興課長は佐賀県小・中学校学習状況調査〔12月調査〕の結果について、資料に基づき次のとおり報告した。

（宮崎教育振興課長）

昨年 12 月 4 日、5 日に実施した今年度の佐賀県小・中学校学習状況調査〔12月調査〕の結果についてご報告する。

資料は報告 1 - 1 である。目的及び調査対象、調査教科については例年通りで、資料 1 - 1 に付けているとおりで実施している。

続いて、資料 1 - 2 をご覧いただきたい。調査結果についてご報告する。概要に記しているとおり、最低到達基準にはほとんどの教科が達しているが、そのうちの小学校 4 年生の算数、小学校 5 年生の国語、中学校 2 年生の理科については到達することができていない。また、今回、学習内容の習得が十分であると判断される目標到達基準に達した教科はなかった。ただ、目標到達基準にどれだけ近づいたかということ、昨年度と今年度で比較した。昨年度は、その前年度と比較をして目標到達基準に近づいた教科が 22 教科中 8 教科だったが、今年度は、昨年度に比べて目標到達基準に近づいた教科が 22 教科中 13 教科ということで、そのあたりでは改善傾向がみられると思っている。

続いて、教科ごとの詳細な結果についてご説明する。詳細な内容については、資料

1 - 2 から 1 - 3 に示しているとおりでである。総括すると、各教科で、基本的な知識や技能を問う問題の正答率が高い傾向にあるが、自分の考えを持ち記述による説明をする問題や、結果を考察し適切に表現するような問題は回答率が低い傾向にある。このことについては、従来から同じ傾向があると認識している。

続いて、4月調査と12月調査の結果の比較についてである。国語では、4学年中、小学校6年生で4月調査を上回っている。一方で算数、数学については、4学年中、小学校6年生、中学校1年生、中学校2年生で4月調査を上回っている。地域別の教科の達成状況については、資料1 - 3 から1 - 5 に付けているが、このことについても、小学校では地域差が少ない傾向にあるが、中学校になるとそれが広がってくる傾向にある。これについても、従来から同じ傾向にあり課題であると思っている。

このような結果を受け、今後の対応について、資料1 - 5 から1 - 6 に記している。結果を見て、やや改善傾向にあるものの依然として県全体における取組の徹底が十分に図られていないということが、なかなか改善ができていない原因であるだろうと思う。特に、学校においては今回の調査結果から明らかになった課題を全職員で共通理解をして、課題解決に向けた取組を全職員で実践することが何より大切ではないかと思う。県教育委員会としては、この取組が県全体をあげた取組となるよう、引き続き学校や市町教育委員会、家庭、市町と連携しながらこれまでの取組の継続と徹底を図ることにしている。同じような課題が継続して残っているため、その改善に向けた取組にしっかりと力を入れていただけるよう、資料1 - 6 に示している(1)から(4)のことについては特に重点を置いて取り組んでいくことにしている。

【主な質問等】

(飯盛(清)委員)

中学校では、調査項目は教科に偏りがあるため、全職員での共通理解というところがなかなか難しいところではないかと思っていた。具体的に、(取組が)進んでいるところでは、理科の先生、社会の先生がどういった協力をされているのか。

(宮崎教育振興課長)

特に12月調査については、中学校についても国語、英語、数学、理科、社会ということで一通りの教科にまたがって行っているため、社会と理科についてもそれぞれ課題をもって取り組んでいると思うが、どうしても自分の専門教科に責任をもっているため、教科の壁を越えて学校全体で取り組むということができていないところもあると思う。自分の専門教科でも、他の教科との絡みの中で子どもたちが学習しているということを教員がしっかり意識して、学校を上げて取り組むことが大切である。

(小林委員)

地区別の差があるというのは、だいたいずっと同じような傾向にあるが、そうなるってしまう根本的な原因は何かあるか。もともとの子どもや地域の雰囲気や学校の環境等、いろいろあると思うが。

(宮崎教育振興課長)

たしかに依然として地域差はあるが、これは全体的に縮小する傾向にある。特に課題があるといわれている地域においても、それぞれでしっかりと取り組まれているところであるが、どうしてそういう傾向になるのかというと、教員の地域の意識、家庭の教育力等も地域間で差が出る。そういうところを改善するために、課題がある地域(の学校)を研究指定にしたり、人を配置したりしている。PTA 联合会等とも連携をしながら意識化を図るよう努めているところである。

(小林委員)

学校給食があるところとないところで差があったりするのでは、と思ったりする。地域で差がなく食を支えていける取組ができれば。

(宮崎教育振興課長)

それについては把握ができていないが、一般的に、早寝早起き朝ごはんがきちんとできているところは、学力が高いという結果も出ているため、もしかしたらそういう関連もあるかもしれない。もし関連があるようであれば、最終的には市町の判断にはなるが、市町に対してお願いもしていかなければいけないと思っている。

(加藤委員)

理科と英語が、中学校1年から2年に上がった時に、特に理科については最低到達基準に到達していない。英語も下がる傾向にあるので、下がっている要因はどう考えていच्छるか。

(宮崎教育振興課長)

中学校の学習内容が1年生と2年生で若干変わってくることもある。また、地学に関しては、小学校5年生のときに一度学習した後、途中何もせず、中学校2年生になった時急に入ってくるということもあるのかと思う。

小学校に比べて中学校の理科がよくない傾向にあるのは、全国調査でも同じ結果が出ている。理科については、特に中学校は実験や観察をした内容をしっかりとめて、それをもとに色々と考えさせるところがあまりできていないこともあるため、そういうところからしっかりと知識の定着、考える力の定着ができていないのではと思う。

(飯盛(清)委員)

中学2年生の英語が伸び悩んでいるということについて、小学校4年生でローマ字を勉強するが、それがICTを活用したローマ字入力につながっていない、せめてそこまでは習得したうえで中学校に送り出してほしいということが、ICTの委員会で言われていた。校長からすると、技術の時間も足りない中でなかなか難しいとのことだった。現在、私立中学校で勤務しているが、英語の時間を多くしているにも関わらず、「書く」ことに苦労している生徒がいるようだ。ただ、今は書かなくてもしゃべればパソコンが反応する時代になってきているため、時代の進展はありがたい反面、(そういった問題もある。)

(飯盛(裕)委員)

個人的な経験だが、カナダに行ったとき、英単語を覚えるために何度も「書く」、この練習があって単語を覚えていたので、書くことが大切だと思う。

(宮崎教育振興課長)

小学校の教科に外国語が入るのも、「読むこと」「書くこと」に関して、小学校と中学校の段差をなくそうという理由もあるので、そのあたりがうまく指導されるようになれば改善がなされるのかなと思う。

(飯盛(清)委員)

県立中学校の入学試験の科目として外国語が入る見通しはないか。

(宮崎教育振興課長)

今のところ、小学校の外国語の評価は、他の国語、算数、理科、社会の評価・評定とは違うため、そこまでは考えていない。

(大井手学校教育課長)

現時点では、まだ移行期間中ということもある。

築地教育総務課長は次回定例教育委員会について、次のとおり報告した。

(築地教育総務課長)

次回定例教育委員会は、3月25日(月曜日)11時00分から開催する予定としている。開始時間については変更になる可能性があるため、改めてお知らせする。委員の出席をお願いしたい。

(4) 議事

教育長は非公開を宣言した。

【付第34号議案】

県議会に提出する教育関係議案に対する意見について

このことについて、議案書により築地教育総務課長が説明し、委員会は協議の結果、議案のとおり決定した。

【付第35号議案】

県議会に提出する教育関係議案に対する意見について

このことについて、議案書により築地教育総務課長が説明し、委員会は協議の結果、議案のとおり決定した。

(5) 事務局報告

大井手学校教育課長は平成30年度第2回優秀な児童生徒に対する教育長表彰(追加報告)について、資料に基づき報告した。

(6) 閉会 11時09分